

COMPASS. 松山 GREEN

令和
5年度

事業所における自己評価結果（公表）

討議日：令和5年10月27日
公表日：令和6年2月26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	6		個々の特性や課題によってフレイルームや個室等、基準より広い空間を利用することで、密にならないよう取り組むことができております。	十分なスペースを用意しておりますが、利用時間が重なる時狭感感が否めないこともあるので、パーティションを利用し、より良い環境となるように工夫してまいります。
	2	6		配置数は基準より多く配置し、有資格者を配置させていただいております。	基準より多く配置していますが、利用児童の個性・特性を踏まえ、十分な配慮を行ってまいります。
	3	6		ドアが重く、開閉時の指詰め等の危険をとまなう為、ストッパーを取り付けています。利用児童が安全に過ごせるようクッション材を敷き、怪我のないよう配慮しております。	今後も保護者様のニーズに応じて、バリアフリー化を検討してまいります。
	4	6		日々の清掃や片づけで清潔を保ち、児童退所後は、消毒・清掃を念入りに行っております。活動に合わせたスペース利用で、心地良い空間を提供できるように努めております。	今後も感染予防も含め、清潔な環境への配慮に努めてまいります。
業務改善	5	6		ケース会議、支援会議、リフレクション等、利用児童の成長やその日の気付きについて伝えあったり話し合ったりしています。職員が情報を共有し、業務改善に努めております。	今後も定期的な会議で、課題・目標を設定し、全員で情報の提供と実践に努めてまいります。
	6	6		定期的に保護者様にアンケート調査を行い、いただいた評価を共有し検討することで、さらなる業務の改善に取り組んでおります。	今後もアンケートを継続し、保護者様のご意見を耳を傾け、業務改善に繋げてまいります。
	7	6		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	8		6	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	9	6		定期的な研修により職員の向上に努めております。	支援会議や日々の業務の中で、関わり方や療育について話し合い、良い支援を心がけてまいります。
適切な支援の提供	10	6		保護者様との面談を行いコミュニケーションを取ることで、現状の確認および課題について整理し、成長と発達に応じた計画を作成しております。	今後も、アセスメントや家庭連携を取りながら保護者様との信頼関係を築き、ニーズや課題を把握し、個々に合った支援計画を作成してまいります。
	11	6		標準化したアセスメントツールを使用し、モニタリング時にはチェックシートを用いて児童の状況を把握し、支援計画の作成へと繋げております。	情報収集を正確に行い、今後も継続して適切にアセスメントツールを活用してまいります。
	12	6		保護者様とコミュニケーションを密に取り、児童に必要な支援内容を選択した支援計画を作成しており、保護者様に了承していただいております。	半年ごとに見直しを行い、児童や保護者様の願いやご意向に沿った、具体的な個別指導計画を作成してまいります。
	13	6		全職員で共通認識を図りながら、支援計画に沿った支援を行っております。	今後も、児童の成長や発達について話し合い、共通認識のもと支援してまいります。
	14	6		支援内容について職員間で話し合い、児童一人ひとりの特性に合った活動内容の見直しを行っております。	意見を出し合い、行事や活動の立案を立ててまいります。
	15	6		課題点の見直しや話し合いを行い、固定化しないよう工夫しております。	全職員で情報を共有しながら、児童の状況や成長に適した課題に取り組んでまいります。
	16	6		児童の発達段階に合わせ、状況を把握しながら個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成しております。	個々に必要な療育活動は、多方面から考慮し、発達に応じた活動を計画してまいります。
	17	6		利用予定に基づいて、職員間で話し合い支援の内容や役割分担について打ち合わせを行っております。	利用当日の流れや支援内容・役割分担について、情報共有のうえ支援に取り組んでまいります。
	18	6		全員分の打ち合わせは、難しいですがその日の気付きや反省等を職員間で伝えあい、連絡ノート等にて情報を共有しております。	今後も全職員で連携し、小さなことでも意見を出し合い、一緒に振り返りより良い支援を行ってまいります。
	19	6		体調を含め、療育内容の記録をとり、支援の検証・改善に繋げております。	今後も記録を継続し、気づきや課題等を職員間で話し合っております。
関係機関や保護者様との連携	20	6		定期的なモニタリングによって、児童の状況や課題を確認し、保護者様のご意向を踏まえて個別支援会議を行い、支援計画の見直しを行っております。	今後も期間を問わず、必要に応じて保護者様と情報交換を行い、モニタリングの内容を支援計画に反映させてまいります。
	21	6		担当者会議には、児発管や管理者、専門職員、保育士等が参加しております。	チーム一丸となって、より良いサービスが提供できるようにしてまいります。
	22	6		園との連携を取り、必要に応じて、児童支援について共有しております。	今後も関係機関との関わりを大切に、児童に対して連携した支援ができるように努めてまいります。
	23	6		現在の医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のおり方について模索してまいります。
	24	6		現在の医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のおり方について模索してまいります。
	25	6		関係機関との担当者会議を通して、情報提供や共有を図り、支援方針が統一され、より良い支援に繋がるように努めております。	今後も、ご家族様や関係機関との連携を密にし、支援内容や情報共有と相互理解を図ってまいります。
	26	6		必要に応じて連絡を取り、保護者様へ、関係機関と情報共有の情報を共有しております。	進学先との連携をとり、情報共有と相互理解を図ってまいります。
	27	6		専門機関との電話連絡や来所していただき、連携を取らせていただいております。	積極的に関係機関の研修等に参加し助言を受けて、連携を取るように努めてまいります。
	28	6		現在のところ、外部児童との交流は企画できておりません。	保護者様のご意向を伺いながら、検討してまいります。
	29	6		現時点では、参加機会を持つことができておりません。	研修や会議等に参加するように検討してまいります。
保護者様への説明責任等	30	6		連絡ノートや送迎時に保護者様からお話をお聞きしたり、事業所での様子や課題について共有しております。	引き続き保護者様との情報共有の充実を図り、共通理解に努めてまいります。
	31	6		お悩みや不安等の相談を受けた際には、真摯に受け止め、助言等を行っております。	連絡帳や送迎時、質問や不安、喜び等を共有し、共感したりアドバイスを行い、寄り添った支援を行ってまいります。
	32	6		契約時には、重要事項説明書や利用契約書を通して、詳しく説明をしております。	ご質問があれば、その都度対応させていただいており、今後も分かりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。
	33	6		共有ガイドラインが示す支援内容と保護者様のご意向、利用児童の課題にしっかりと向き合い、詳しく説明して保護者様にご理解を得ております。	今後も同様に、児童発達支援計画について丁寧な説明に努めてまいります。
	34	6		相談しやすい環境づくりに向け、子育ての悩み等、保護者様のお気持ちに寄り添った支援を行っております。	今後も保護者様のお気持ちに寄り添い、適切な助言や支援に努めてまいります。
	35	6		現時点で、保護者会等の開催をする機会を持つことができておりません。	保護者様参加型行事や交流の機会などの検討をしてまいります。
	36	6		苦情や申し入れをいただいた場合には、職員に周知し、ご理解と対応についての共通理解を図っております。	今後も、ご意見等には迅速な対応を行い、問題解決ができるように努めてまいります。
	37	6		公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしているほか季節ごとの会報を発行しております。	継続して情報の発信を行い、活動内容を知っていただけるよう努めてまいります。
	38	6		個人情報書類は、すべて書庫に保管しております。	施設管理を徹底してまいります。
	39	6		生活に必要な約束は、絵などで見える化し、ジェスチャーなどを用いて、わかりやすく情報を伝えるように配慮しております。	お互いの情報がスムーズに交換できるように努力してまいります。
非常時等の対応	40	6		現時点では、事業所行事に地域住民を招待するような企画は行っておりません。	避難訓練や地域清掃等により、交流ができるように検討してまいります。
	41	6		さまざまなマニュアル策定しており、保護者様にも見えやすい場所に掲示し、訓練を実施しております。	今後も保護者様にご案内していき、職員への周知徹底に努め、訓練を重ねてまいります。
	42	6		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	今後も定期的な訓練を実施し、職員、児童ともに迅速に対応できるよう防災意識を高める取り組みを行ってまいります。
	43	6		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	児童の健康に関する状況を把握し、安全に配慮してまいります。
	44	6		現在、アレルギーを持つ児童の利用はありませんが、保護者様より面談時に詳しく情報をいただいております。	今後も保護者様からの聞き取りを定期的に行い、適切な対応をしてまいります。
	45	6		ヒヤリハットが発生した場合は、報告書を作成し、全職員で周知、共有して再発防止に努めております。	今後も、ヒヤリハットの事例をもとに、話し合いを行い安全に過ごせるようにしてまいります。
	46	6		職員研修は年間計画に取り入れ、虐待研修を実施しております。	虐待についての共通理解をして、虐待が起きないように全職員に周知徹底を行ってまいります。
47	6		現時点で該当者はおりませんが、生命または、身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ保護者様の同意を得ることとしております。	身体拘束を避ける基本姿勢を守り、緊急時に限り、十分説明をして保護者様の同意を得て、個別支援計画にも記載してまいります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。